

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月13日

【四半期会計期間】 第72期第2四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 株式会社フジマック

【英訳名】 FUJIMAK CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 熊谷 光治

【本店の所在の場所】 東京都港区南麻布一丁目7番23号

【電話番号】 03 - 4235 - 2200

【事務連絡者氏名】 管理本部長 宮田 貴司

【最寄りの連絡場所】 東京都港区南麻布一丁目7番23号

【電話番号】 03 - 4235 - 2200

【事務連絡者氏名】 管理本部長 宮田 貴司

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第71期 第2四半期 連結累計期間	第72期 第2四半期 連結累計期間	第71期
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高	(千円)	18,456,567	14,006,873	37,812,733
経常利益	(千円)	930,799	132,535	1,829,339
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	604,267	30,388	1,109,375
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	445,630	132,551	590,600
純資産額	(千円)	18,439,950	18,455,346	18,584,920
総資産額	(千円)	34,315,951	32,187,474	35,877,054
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	46.11	2.32	84.64
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	53.7	57.3	51.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,517,304	1,067,180	1,215,692
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	445,277	1,322,409	1,125,651
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	545,499	513,080	820,819
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	9,980,259	9,015,192	8,748,113

回次		第71期 第2四半期 連結会計期間	第72期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	41.55	11.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続く中で、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、外食の自粛やインパウンドの激減、さらには国内移動制限による国内観光の不振など、経済活動が大きく制限された状況から徐々に日常を取り戻しつつありますが、消費活動や設備投資などの景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

主要なお客様である外食、宿泊施設、病院、老健、福祉施設またレジャー施設等への影響が極めて大きい環境下、当社グループは社員の健康と安全を確保しつつ、お客様のコロナ禍での新しいニーズ、ご要望に、迅速且つ的確にお応えすべく、生産、物流、設計、施工、営業、サービスの一貫体制を一層強化するとともに、利益率の改善、経費の削減に努め、収益体質を強化してまいりました。しかしながら、依然として国内経済活動の低迷の影響を受けております。

こうしたことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は140億6百万円（前年同期比24.1%減）となりました。利益面につきましては、経常利益は1億3千2百万円（前年同期比85.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3千万円（前年同期比95.0%減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、売上債権の減少等により、前連結会計年度末比36億8千9百万円減の321億8千7百万円となりました。負債につきましては、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末比35億6千万円減の137億3千2百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比1億2千9百万円減の184億5千5百万円となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2億6千7百万円増加し、90億1千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は10億6千7百万円（前年同期は15億1千7百万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権の減少および仕入債務の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13億2千2百万円（前年同期は4億4千5百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は5億1千3百万円（前年同期は5億4千5百万円の使用）となりました。

これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億4千3百万円であります。

主なものは、製品の品質及び安全性の向上に向けた開発並びに製品の省人化・省力化を目的とした食器自動洗浄システムの開発等であります。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設について、当第2四半期連結累計期間に完成したものは次のとおりであります。

株式会社フジマックにて、前連結会計年度に総工費約13億円で建設中でありました建物（延床面積約550坪）は2020年6月末に完成引渡しを受け、7月より本社ビルとして稼働しております。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,272,000	14,272,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数100株
計	14,272,000	14,272,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月30日	-	14,272,000	-	1,471,150	-	1,148,365

(5) 【大株主の状況】

2020年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ノヴァックス	東京都港区南麻布1丁目7-23	4,477	34.16
熊谷俊範	東京都品川区	1,046	7.98
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	820	6.26
フジマック従業員持株会	東京都港区南麻布1丁目7-23	743	5.67
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	430	3.28
熊谷俊茂	東京都目黒区	425	3.24
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5-5	380	2.90
常盤ステンレス工業株式会社	大阪府大阪市平野区加美北4丁目6-56	256	1.96
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	100 KING STREET WEST, SUITE 3500, PO BOX 23 TORONTO, ONTARIO M5X 1A9 CANADA (東京都港区港南2丁目15-1品川イン ターシティA棟)	240	1.83
株式会社テーオーシー	東京都品川区西五反田7丁目22-17	172	1.31
計	-	8,989	68.59

(注) 1. 上記のほか当社所有の自己株式1,165千株があります。

2. 2018年11月22日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、エフエムアールエルエルシー(FMR LLC)が2018年11月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
エフエムアール エルエル シー(FMR LLC)	245 Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA	1,049	7.35

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,165,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,102,900	131,029	
単元未満株式	普通株式 3,400		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	14,272,000		
総株主の議決権		131,029	

【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区南麻布一丁目 7番23号	1,165,700		1,165,700	8.17
計		1,165,700		1,165,700	8.17

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,118,018	9,419,670
受取手形及び売掛金	8,753,884	4,231,599
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	3,411,362	3,357,944
仕掛品	115,788	115,130
原材料及び貯蔵品	1,134,365	1,033,747
その他	510,303	341,758
貸倒引当金	6,281	3,227
流動資産合計	23,047,441	18,506,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,570,660	6,722,367
減価償却累計額	2,742,707	2,840,404
建物及び構築物(純額)	2,827,953	3,881,963
機械装置及び運搬具	4,419,059	4,438,986
減価償却累計額	3,335,983	3,471,338
機械装置及び運搬具(純額)	1,083,076	967,648
土地	4,082,160	4,292,738
その他	2,814,916	2,059,311
減価償却累計額	1,624,382	1,670,620
その他(純額)	1,190,534	388,691
有形固定資産合計	9,183,724	9,531,041
無形固定資産	268,209	317,499
投資その他の資産		
投資有価証券	1,354,003	1,850,219
その他	2,140,576	2,080,405
貸倒引当金	116,900	98,315
投資その他の資産合計	3,377,678	3,832,309
固定資産合計	12,829,613	13,680,850
資産合計	35,877,054	32,187,474

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,653,706	6,379,993
短期借入金	39,492	39,478
1年内返済予定の長期借入金	396,688	542,356
未払法人税等	421,953	76,389
賞与引当金	556,776	377,747
役員賞与引当金	40,645	20,475
製品保証引当金	68,700	59,400
受注損失引当金	36,000	5,000
その他	1,927,224	1,411,269
流動負債合計	13,141,187	8,912,109
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	1,765,888	2,395,440
退職給付に係る負債	152,953	213,131
その他	1,232,105	1,211,447
固定負債合計	4,150,946	4,820,018
負債合計	17,292,133	13,732,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	14,124,374	13,892,637
自己株式	441,951	441,951
株主資本合計	16,301,938	16,070,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	503,457	587,834
土地再評価差額金	1,727,010	1,727,010
為替換算調整勘定	52,513	70,300
その他の包括利益累計額合計	2,282,981	2,385,145
純資産合計	18,584,920	18,455,346
負債純資産合計	35,877,054	32,187,474

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	18,456,567	14,006,873
売上原価	12,519,875	9,244,412
売上総利益	5,936,691	4,762,461
販売費及び一般管理費	5,043,780	4,690,815
営業利益	892,911	71,646
営業外収益		
受取利息	13,748	2,618
受取配当金	18,664	18,975
受取手数料	7,110	9,682
受取賃貸料	23,878	21,803
その他	16,149	58,080
営業外収益合計	79,551	111,159
営業外費用		
支払利息	14,891	13,147
為替差損	22,078	32,674
その他	4,693	4,448
営業外費用合計	41,663	50,270
経常利益	930,799	132,535
特別利益		
固定資産売却益	1,735	442
投資有価証券売却益	66	64,285
特別利益合計	1,802	64,728
特別損失		
固定資産売却損	203	66
固定資産除却損	200	3,581
投資有価証券売却損	872	415
投資有価証券評価損	3,046	4,619
特別損失合計	4,322	8,682
税金等調整前四半期純利益	928,278	188,581
法人税、住民税及び事業税	236,030	58,411
法人税等調整額	87,980	99,781
法人税等合計	324,010	158,192
四半期純利益	604,267	30,388
親会社株主に帰属する四半期純利益	604,267	30,388

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	604,267	30,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,055	84,376
為替換算調整勘定	83,581	17,787
その他の包括利益合計	158,637	102,163
四半期包括利益	445,630	132,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	445,630	132,551
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	928,278	188,581
減価償却費	333,618	376,413
受取利息及び受取配当金	32,412	21,593
支払利息	14,891	13,147
固定資産除売却損益(は益)	1,332	3,205
投資有価証券売却損益(は益)	805	63,870
投資有価証券評価損益(は益)	3,046	4,619
売上債権の増減額(は増加)	1,286,993	4,368,256
たな卸資産の増減額(は増加)	31,415	163,754
仕入債務の増減額(は減少)	442,135	3,198,047
その他	370,669	363,823
小計	1,752,500	1,470,642
利息及び配当金の受取額	24,222	13,934
利息の支払額	14,733	13,783
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	244,684	403,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,517,304	1,067,180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	330,062	367,440
定期預金の払戻による収入	327,579	325,970
有形固定資産の取得による支出	284,145	785,103
無形固定資産の取得による支出	23,822	122,807
投資有価証券の取得による支出	19,329	403,316
投資有価証券の売却による収入	20,154	86,335
非連結子会社に対する貸付けによる支出	80,000	-
非連結子会社に対する貸付けの回収による収入	5,290	2,610
貸付金の回収による収入	436	445
その他	61,377	59,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	445,277	1,322,409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	14
長期借入れによる収入	-	1,000,000
長期借入金の返済による支出	283,374	224,780
配当金の支払額	262,125	262,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	545,499	513,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,961	9,228
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	497,565	267,078
現金及び現金同等物の期首残高	9,482,694	8,748,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,980,259	9,015,192

【注記事項】

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見直しについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
受取手形割引高	261千円	1,329千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
給与手当	1,979,681千円	1,844,344千円
貸倒引当金繰入額	3,701 "	1,320 "
賞与引当金繰入額	313,362 "	313,481 "
役員賞与引当金繰入額	20,077 "	17,873 "
退職給付費用	127,347 "	141,434 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
現金及び預金	10,361,340千円	9,419,670千円
預入期間が3か月を超える定期預金	381,080 "	404,478 "
現金及び現金同等物	9,980,259千円	9,015,192千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	262,125	20	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	262,125	20	2020年3月31日	2020年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益	46円11銭	2円32銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	604,267	30,388
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	604,267	30,388
普通株式の期中平均株式数(株)	13,106,290	13,106,290

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月10日

株式会社フジマック
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小	野	英	樹	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	水	野	博	嗣	印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。